

カンボジア便り

しんがくねん はじ 新学年が始まったよ！

カンボジアは11月から新学期が始まりました。日本と同じで、最初に始業式があります。子どもたちが「〇〇を頑張ります！」と発表する時間もありました。昨年も子どもたちの人数が多かったですが、今年はなんと1クラス最大64人だとか…。4年生のそのクラスの先生が、「多過ぎ」と言っていたのでカンボジアの中でも多いのだと思います。なぜそんなに多いのか考えてみると、教室や先生の数が足りないんだな、と分かります。音楽室に集まった子どもたちは、机が足りないので1つの長机に3人で座っています。そうすると、鍵盤ハーモニカを演奏する時は、机に3台乗り切らないのでまっすぐではなく斜めに置いて演奏しています。ぎゅうぎゅうに詰まって大変ですが、みんな楽しそうに授業を受けてくれています。



えいちおーしー こ たち HOCの子ども達と



私の住んでいるアパートのすぐ近くに、カフェHOCというお店があります。なんと、日本のカレーライスが食べられます。ホープオブチルドレン (Hope Of Children) という児童養護施設が少し離れた場所にあり、その子どもたちが仕事を学ぶ場としてカフェをしているそうです。なぜそのカフェで日本食が食べられるのかというと、岩田亮子さんという日本人が、その孤児院やカフェの経営に協力されているのです。様々な理由で親元を離れなくてはいけなくなった子どもたちが集まっていて、年齢は7歳から20歳まで幅広く、現在30名の子どもたちが一緒に暮らしています。



6月頃、日本の歌コンテストに参加したいという話をいただき、孤児院まで少しだけ合唱の指導に行っていました。孤児院では日本語も教えているようで、中には日本語がペラペラな子もいます。練習曲は、歌詞が全部日本語の歌でした。日本語にはクメール語には無い発音があるので難しそう。残念ながら練習期間が短かったため予選を通過できず、コンテストに出場することはできなかったのですが、高い音も頑張ってチャレンジしていました。練習の際には夕食にもお呼ばれしたのですが、食事は当番制でみんなが交代で作り、皿洗いも自分たちで行っていました。とても美味しい食事を頂き、私もいい思い出ができました。

先日は、子どもたちがバッターバン空港(今は使われていない)で短距離走大会をすると言うので、一緒に走ってきました。太陽に向かって走るのが何だか素敵でした。

